

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	勤労身体障害者教養文化体育施設管理運営費		事業コード	15220

1 総合計画における位置づけ

政策名	1 第 5 章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第 2 節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63 年度
施策名	第 2 施策	スポーツ・レクリエーション施設の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

勤労身体障害者教養文化体育施設運営要領
---------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
身体障害者の福祉の増進を図るため、身体機能の回復向上、健康の増進、コミュニケーション及び教養文化等のための便宜を供与することを目的とする。 <雇用能力開発機構(旧：雇用促進事業団)からの委託事業>		相模原勤労身体障害者教養文化体育施設	
		対象数	1施設
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・身体障害者団体等を始めとする市民に対して施設の個別貸し出し ・福祉の増進等を目的にした各種イベント会場としての貸し出し ・その他施設維持に関係する各種業務 <延べ利用者数> 70,445人 <平成13年度決算額内訳> 保険：38,570円 委託料：50,792,484円 (内訳：支出52,981,944円・人件費、物件費 収入 2,189,460円・利用料収入)		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

4 評価指標

指標名	施設の利用率	施設の必要性
指標式	利用回数 / 利用可能回数 × 100	本施設 / 市内同目的施設 × 100
指標設定の意図	施設全体の利用率を表す。	市内で、本施設と同じ事業目的で使用されている施設は、他に存在しない。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	63	60	a 60	b 100	100	
指標	100	100	c 100	d 100	100	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	42,239	53,713	50,832	55,591	55,383
	人員・時間数	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	人件費	420	420	420	420	420
	その他経費					
	合計	42,659	54,133	51,252	56,011	55,803
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 80.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{60.0}{100.0} \times 100 = 60.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$
理由 :	施設利用率はここ数年安定し、その他各種イベントの会場にも使用されるなど、本施設の必要性は徐々に高まっており、概ね目的を達成している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	身体障害者が主として使用できる公共施設が少ない中、本施設の必要性は高い。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	現在、施設の維持に掛かっている費用は必要最低限であり、施設の必要性から見ても費用対効果は妥当である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	身体障害者へスポーツ及び教養文化の振興を目的とした施設として、市が運営管理していくことが適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	身体障害者を始めとする利用希望者の大半が希望どおり利用できており、満足できる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	身体障害者等が活動できる場所を設けるといことは、スポーツ及び教養文化を振興していく上で非常に有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> PR等を積極的に行い、利用率を更に上げる。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 既に最小限の職員で行っている事業であり、これ以上のコスト削減は困難。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	本施設のような目的で設置及び利用されている施設は殆どない。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	本施設は、身体障害者を始めとして多くの市民に認知されてきている施設であり、今後も運営管理を継続していく。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--